

機械器具(29)電気手術器
管理医療機器 一般的電気手術器 70647000

特定保守管理医療機器 **ベサリウス シリーズ N1**

【警告】

＜使用上の注意＞

- ・電気手術器は原理的に適正な使用であっても電極部から火花放電が避けられないため、周囲の可燃性麻酔剤や可燃性ガス、可燃性の液体や物質(消毒液等の気化ガス・乾燥したガーゼ)、又は酸素回路中のガス漏れ、若しくは酸性物質等が存在するところでの使用は避けてください。[引火・爆発による火災の発生や、患者さん及び手術スタッフに重大な損傷を与える危険性があります。]
- ・可燃性溶液(アルコール系消毒液)、可燃性ガスは排除してください。特に臍のような人体陥没部及び膈のような人体の空洞部、並びに患者さんの体の下には可燃性溶液又はその他の溶液が貯留しないようにし、体内で自然に発生する可燃性ガスも含め、気化したガス等が充満しないように排除し、安全を確保してください。[引火・爆発による火災の発生の危険性があります。]
- ・酸素や亜酸化窒素などの支燃性ガスの濃度が高くなっている所では、本装置を使用しないでください。[酸素及び亜酸化窒素(N₂O)は火勢を強め、激しい燃焼を引き起こす支燃性を持っています。]
- ・電気手術器本体は高周波を利用している関係上、併用する他の電気機器(例えば、輸液ポンプ等)、特に生命維持装置については、あらかじめ干渉による誤作動がないことを確認の上、使用してください。[電磁的影響により患者さん等に重大な傷害を与える可能性があります。]
- ・患者さんを金属部(例えば、手術台、支持器等)に接触させないでください。この目的のために、絶縁シーツを使うことを推奨します。[熱傷を起こす可能性があります。]
- ・皮膚と皮膚の接触(例えば、患者さんの腕と体との接触)は、例えば、乾いたガーゼを挿入する等して避けてください。[熱傷を起こす可能性があります。]
- ・治療時以外出力を発生しないでください。[熱傷を起こす可能性があります。]
- ・アクセサリ類は定められた接続端子に正しく接続してください。
- ・本装置のバイポーラ端子には、純正品又は製造販売業者が承認したバイポーラ用ケーブルを使用してください。

＜適用対象(患者さん)＞

- ・心臓ペースメーカ又は他の能動型埋め込み機器を装着した患者さんに電気手術器を使用する場合は、担当医の助言を得ることや、ペースメーカ製造販売業者に問い合わせをして十分に安全であることを確認した上で使用してください。[ペースメーカの停止、固定レート化、不整レート発生等の動作干渉及び細動等が生じる危険性があります。]

【禁忌・禁止】

＜使用方法＞

- ・本装置には、純正品又は製造販売業者が承認した電極、ケーブル以外は使用しないでください。
- ・他の電気手術器との同時使用は絶対にしてしないでください。[高周波漏洩や相互干渉が発生する可能性があります。]

【形状・構造及び原理等】

＜形状＞

ベサリウス シリーズ N1 * *

電気手術器本体



バイポーラ出力端子

寸法及び重量

寸法 : 310(幅) × 180(高さ) × 330(奥行)mm

重量 : 13.5kg

＜電氣的定格＞

- 出力形式及び電撃に対する保護の形式・程度の分類
出力回路方式 : 高周波非接地形
分類 : クラス I・CF 形装着部(耐除細動形)
- 電源
電源電圧 : AC100V 50/60Hz
電源入力 : 350VA(最大出力時)

＜作動・動作原理＞

バイポーラ電極先端の電極間に高周波電流が流れ、生体組織を切開・凝固します。

取扱説明書を必ずご参照ください。

【使用目的、効能又は効果】

<使用目的>

本装置は、主に神経外科手術に使用するバイポーラ専用の高周波電気手術器である。

<使用目的に関連する使用上の注意> *

使用可能な専用プラグ

品番	バイポーラ接続ケーブル等
2506001A	ヨーロッパタイプ(アンフェノールコネクタ)
2506005A	
2506004A	アメリカンタイプ(アンフェノールコネクタ)
2506012A	
2506008A	Aesculapフォーセプスタイプ(アンフェノールコネクタ)
2505002A	バイポーラアダプタ(アンフェノールコネクタ)
2505004A	

【品目仕様等】

- ・基本周波数:4MHz
- ・定格出力
切開:70W (200Ω負荷)
凝固:25W (100Ω負荷)
- ・出力精度:±20%(テストレポート記載の出力値に対して)

【操作方法又は使用方法等】

<操作方法>

- ・詳細な操作方法については、取扱説明書を参照してください。
- ・本装置は、対極板を使用しない電気手術器です。

1. 本体のセットアップ

安定して表面が平らなテーブルか専用稼働台上に設置して使用します。電源ケーブルを本装置の背面パネルにある電源ケーブルソケットに接続し、電源スイッチが「OFF」になっているのを確認してから電源コンセントへ接続します。

2. アクセサリの接続

バイポーラ電極^{※1}、バイポーラケーブル^{※2}、フットスイッチ^{※2}を正しく接続します。

3. 本体の作動確認

電源を「ON」にして、異常がないか確認します。

4. 出力の設定

目的に応じたモードの出力を設定します。

5. 出力の発生

フットスイッチ又はバイポーラ電極を操作して出力を発生させます。

6. 使用の終了

本体の電源スイッチを「OFF」にし、電源ケーブルをコンセントから抜きます。バイポーラケーブルやフットスイッチを外します。

【使用上の注意】

<重要な基本的注意>

詳細な使用上の注意については、取扱説明書を参照してください。

1. 使用前

- ・本装置に使用するアクセサリは、純正品又は本装置の製造販売業者が承認したものを使用してください。
- ・使用されるアクセサリがすべて完全な状態であるか確認してください。

・絶縁コーティング不良や絶縁コーティングが施されていないバイポーラフォーセプス等は、先端部以外の露出した金属が組織に触れると、その部分に分流が発生して先端電極への出力供給が減少し、意図しない接触部の生体組織を熱傷させるため、使用に際しては注意してください。

・使用するアクセサリは適切な滅菌処理が行われているかを確認し、所定の出力端子に正しく接続してください。

・本装置を適切に冷却するには、周囲の障害物から10cm以上離して、空気に曝してください。

・使用する前は始業点検を必ず行い、スイッチの接触状況、表示ランプ、ブザー音、出力等の点検を行い、正常に動作することを確認してから使用してください。

・電気手術器の操作・動作音質(操作音、誤操作音、不良モニタ警報音、出力発生音)は、他のME機器の動作音や警報音と混同しないよう十分に認識して使用してください。

・電気手術器の操作・作動音量を聞こえなくなるまで下げないでください。また、操作・作動音が聞こえにくくなるため、本装置の背面を塞がないようにしてください。

・手術台は、複数層の十分な絶縁素材(カバーシート等)によって高周波電流を完全に絶縁してください。手術中は液体(水分、汗等)が発生するので、これらの高周波絶縁素材が濡れるのを避けるために、防水シートを使用してください。

・いかなる状況下でも患者さんの下に液体が貯留することは避けなければなりません。必要に応じて乾いたシートを重ね敷きする等して対処してください。

・出力ケーブル類又はモニタリング装置に接続するケーブルが、患者さんの下敷きになったり、他のケーブルに触れないように注意してください。

2. 電極

・バイポーラ電極のケーブルは、患者さん又は他の電気機器のケーブル等の導体に接触しないようにしてください。また、一時的に使用しない電極は、患者さんから絶縁された状態にしておいてください。

・電極の差し込み、交換は必ず高周波電流が「OFF」の状態で行ってください。

3. 出力設定

・出力設定は、必要最低限にしてください。

・本装置の出力設定の表示値は、W(ワット)で示される出力値ではありません。また実測の出力値とは異なります。出力値は、本装置に同梱されているテストレポートに記載の実測出力値を参照してください。

・通常出力設定で切開又は凝固機能が低下した場合は、電極の炭化物、アクセサリの接触不良等が考えられるため、出力を増加するに前に電極等に異常がないこと、及び患者さんの絶縁状態を確認してから本装置の使用/出力設定変更してください。

・本装置を長期間使用していなかった場合、また、正しい出力設定手順が不明な場合は、まず低出力を選択し、適切なレベルに必要な効果を得られる正しい設定値まで徐々に上昇させることを推奨します。

4. 使用中

・警報が鳴ったり、異常が発生した場合は、本装置の使用を中止し、速やかに患者さんの安全を確保した後、適切な処置を行い電源スイッチを切り、電源ケーブルの差し込みプラグをコンセントから抜いてください。

- ・使用中には、患者さんの状態や本装置の動作状態に異常がないことを常に確認してください。
- ・経尿道的切除術(TUR)において、特に、中断することなく長時間電気手術器を使用した場合には、可燃性ガスを発生する可能性があります。このガスは膀胱内の上部に蓄積し、大気と混じることで、爆発の危険性が高まります。このような蓄積ガス内で高周波電流を使用すると、潜在的な爆発の危険をもたらす可能性がありますので、膀胱内のエアポケットは、できる限り最小に留めてください。
- ・正常な操作設定で正しく動作している電気手術器に明らかな出力低下や故障が発生した場合、まず電極の接続状態を確認してください。
- ・電極先端部は、通常使用においても高温で発熱し、使用直後はかなり蓄熱しています。皮膚に接触すれば熱傷し、覆い布(ドレープ)、ガーゼ、気化ガス等、可燃性物質に引火する可能性があります。また、手術スタッフも電極先端部に触れると熱傷の可能性がありますので、使用直後の電極先端部には触れないでください。また、使用直後の電極先端部は、どこにも触れない状態にしておいてください。* *

5. その他の使用上の注意

- ・電気手術器、心電計等の電気機器を同一の患者さんに同時に使用する場合、患者監視装置のモニタ電極は、できるだけバイポーラ電極等の装着部から離して装着してください。本装置とモニタリング装置は、同じ電源コンセントに接続しないでください。
- ・アクセサリは、取扱説明書に従い、可能な範囲で使用者が定期点検してください。特に、電極ケーブルの絶縁破壊がないか確認してください。
- ・使用後のアクセサリ(消耗品等を含む)は安全な方法で処理及び処分してください。

<有害事象>

- ・熱傷
- ・周辺組織の医原性損傷
- ・感電

【貯蔵・保管方法及び使用期間等】

<保管方法>

- ・常温常圧下にて保管してください。
 周囲温度 : -40~+70℃
 相対湿度 : 10~100%
 大気圧 : 500~1,060hPa
- ・水のかからない場所に設置(保管)してください。
- ・気圧、温度、湿度、風通し、日光、ほこり、塩分、イオウ分等を含んだ空気等により、悪影響の生じる可能性のない場所に設置(保管)してください。
- ・本装置は精密医用電子機器であるため、院内での移動・保管に際しては、振動が加わらないように配慮してください。

【保守・点検に係る事項】

<使用者による保守点検>

1. 全般的事項

- ・本装置の保守点検の責任は、使用者にあります。
- ・保守点検を行うにあたり、点検責任者、点検場所、点検記録、保管場所を決めてください。
- ・電気手術器は他のME機器と比べ、高電圧を使用しているため、使用及び点検方法に制限があります。
- ・感電の危険があるため、電気手術器のカバー等を外しての点検等は行わずに、製造販売業者/修理業者に連絡してください。

- ・日常点検・保守は必ず毎日行ってください。
 - ・始業点検は本装置を使用する前日、あるいは直前に行ってください。主に外観上の不具合や、本装置の作動チェックを中心に行ってください。
 - ・使用中の点検は、使用中の異常な動作音、表示等のチェックを行ってください。
 - ・終業点検は、本装置使用中に異常がなかった場合、主に清掃等を中心に行ってください。
 - ・長期間使用しなかった場合は、使用する前に必ず修理業者による点検を受けてください。
- #### 2. クリーニングと消毒、滅菌
- ・詳細なクリーニング法等については、取扱説明書の『8. アクセサリ類』を参照してください。
 - ・本装置の電源ケーブルのプラグを抜いてから拭いてください。
 - ・可燃性、爆発性物質や樹脂溶剤、研磨剤を使用しないでください。
 - ・湿らせた布(例: 塩化ベンザルコニウム使用)で消毒し、乾いた布で清拭してください。
 - ・室内の滅菌を行う際は、本装置をプラスチック製のカバーで覆ってください。
 - ・液体を直接本装置にかけないでください。また、本装置は高圧蒸気滅菌及びガス滅菌を行うことはできません。

<業者による保守点検>

保守点検を怠ると重大な事故につながる可能性も考えられます。本装置を常に正しく作動させるために修理業者による 24 カ月毎の定期点検を実施してください。故障したときは、機器に点検必要・修理必要等、適切な表示を行い、修理は修理業者に依頼してください。

【包装】

1台/箱

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】

[製造販売業者]

株式会社 TKB * *
 〒140-0012
 東京都品川区勝島 1-5-21
 電話番号: 03-5762-3077 * *

[外国製造業者]

テレア エレクトロニック エンジニアリング社
 (Telea Electronic Engineering Srl)
 イタリア共和国

※1…販売名: ベサリウス シリーズ

認証番号: 21800BZY10170000

※2…販売名: ベサリウス ケーブル&フットスイッチ

届出番号: 13B1X00074000029

1304-4

お問い合わせ先



電話番号: 03-5762-7328

1304-1-0-MKT